



<ごあいさつ>

皆さまには日頃より温かいご支援を戴き、心より御礼申し上げます。

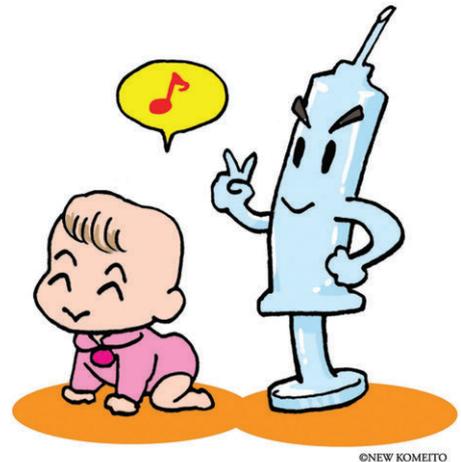
さて、区議会も第2回定例会が閉会しました。今議会では、会派で要望、提案しておりました長寿応援ポイント事業、ヒブワクチン接種費用一部助成等に関する平成21年度一般会計補正予算第2号などを可決しました。いまだ景気回復の兆しの見えない中、区民の皆さまの生活を守るため、全力で様々な施策実現に取り組んでいます。

ヒブワクチンの公費助成が実現

インフルエンザ菌b型(Hib)によって、細菌性髄膜炎等の重篤な感染症を年間約1000人の生後3カ月から5歳ごろの乳幼児が発症、約5%が死亡し、約25%に後遺症が残ります。

山田区長に対し会派として、5月にヒブワクチン接種への公費助成を要望していました。

今回、8月よりワクチン接種費用に対し、1回あたり4000円、一人最大4回までを公費助成することが決定しました。



緊急経済対策「なみすけ商品券発売」



杉並区商店会連合会が、区内経済の活性化と消費の拡大を目的に、区の補助を受け、10%のプレミアム付区内共通商品券として、総額5億5千万円の「なみすけ商品券」を5月に発売。予想を上回る反響があり、即日完売となりました。

10月にも同額の規模で発売されます。

待機児解消へ

今年度も残念ながら多くの待機児が出てしまいました。会派としても昨年、対策について緊急要望をおこないましたが、待機児解消のための緊急対策として今年度予算に計上され、区独自の保育室開設に全力で取り組み、8所(直営5所・委託型3所)が緊急整備されました。

「座・高円寺(杉並区立杉並芸術会館)」が5月オープン

舞台芸術の創造・発信や区民の文化活動の拠点として建設を進めてきた「座・高円寺(杉並区立杉並芸術会館)」が、5月1日にオープンしました。

座・高円寺は、地上3階・地下3階建てで、延べ床面積は4980㎡、世界的な建築家である伊東豊雄(いとうとよお)氏が設計をしました。

黒い鉄板におおわれた外観と波打つテントを張ったような形状の屋根や、内部に自然光を取り入れる多数の明かり窓が特徴で、ひと目でそれと分かる建物は、区の文化・芸術活動の発信地にふさわしい独特な雰囲気をかもし出しています。

施設設備においては、公演内容に合わせて舞台・客席を自由に設定できる「小劇場」(基本形状客席数233)、様々な文化活動などに利用できる「区民ホール」(最大298席)、50年余の歴史を持つ「高円寺阿波おどり」をサポートする「阿波おどりホール」といった、3つの特徴あるホールを備えており、地域に根ざした芸術文化の拠点として重要な役割を果たしていくこととなります。



角川庭園・幻戯山房「すぎなみ詩歌館」開園



園内に設置された水琴窟

5月10日(日)、午前10時から、角川庭園・幻戯山房「すぎなみ詩歌館」(荻窪3-14-22)の開園式が行われました。平成17年に寄贈を受けた、俳人であり角川書店の創始者である故・角川源義氏の旧宅と庭の整備工事が終了し、角川庭園・幻戯山房～すぎなみ詩歌館～として開園しました。邸宅は、和風の数寄屋造りの雰囲気を生かした改修を行い、源義氏にちなんだ展示室、句会などを催せる詩歌室や茶室の貸室がある幻戯山房「すぎなみ詩歌館」として整備し、庭園とともに一般公開することになりました。

トピックス☆☆☆

減税自治体構想 ～げんぜいじちたいこうそう～

山田区長の公約として、故松下幸之助氏の無税国家論をもとにした構想です。

毎年、予算の一定額を積み立て、税収の増減に左右されない強固な「財政のダム」を築き、大規模災害などの緊急時の備えとするとともに

に、将来、区民税の減税を行い、「低負担・高福祉」の地域社会を築くという構想。

今後の経済動向などをふまえ、積立額、減税額等その実現性についてはしっかりと研究していきたいと思ひます。